

ソフト事業のみ ハード事業を含む

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 6 年度

市町村名	越谷市					
提案事業名	水辺空間活用事業					
事業期間	令和5年度 ~ 令和5年度					
成果指標	(成果を検証する指標) ワークショップ及びイベント参加者の満足度					
	(成果検証の具体的な方法) 事業で実施するワークショップ及びイベント等でのアンケートを実施。 (満足度調査で、「非常に満足した」「とても満足した」「満足した」「どちらともいえない」「満足しなかった」の選択肢のうち、「非常に満足した」「とても満足した」「満足した」と回答した割合)					
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	A	
	従前値 (年 月時点)	—	目標値 (令和6年3月時点)	80%	実績値 (令和6年3月時点)	100%
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	稼働率 (%)	(目標) (実績)		
住民への公表状況 及び特記事項		市ホームページで公表				

【事業効果の整理・原因分析】

令和5年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 水辺空間活用事業	○	大相模調節池周辺で、ライフスタイルやキャリアデザインについてのワークショップを開催し、地域で活躍する人材とコミュニティのロールモデルを集め、共感・拡散できる冊子「Lake Up」とボードゲーム「ライフデザインゲーム」を制作し、それらを用いたゲーム形式のイベントを実施したことにより、水辺でのコミュニティづくりや地域に関わることへの意識向上に繋がり、満足度の高さに結び付く結果となった。

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	参加者アンケートでは、満足度の中でも「非常に満足した」と回答した数が回を重ねるごとに増える結果となり、満足度の質が高い事業成果となった。
実施事業について 成果が不十分である点	市内事業者の参加が多く、参加者の層が偏っていたため、創業希望者や学生など、幅広い層がまんべんなく参加できるよう、周知方法などを見直す必要がある。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	今後も、地域で活躍する人材を育成する仕組みや地域課題の解決に結び付く創業への支援など、水辺のにぎわいづくりと共に地域活性化に資する持続的な取組を実施していく必要がある。